

最近の管内経済概況

(2020年6月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、下げ止まりの動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に下げ止まりの動きがみられる。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、低下している。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2020年8月11日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2020年8月現在)

| 発表月 | 2020年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 前月との判断比較 |
|--------|--------------------------------|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|----------|
| 総括判断 | 一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている | <u>足踏み状態となっており、足下で新型コロナウイルスの影響がみられる</u> | <u>新型コロナウイルス感染症などの影響により、弱い動きとなっている</u> | <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている</u> | <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている</u> | <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる</u> | |
| 生産活動 | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 急速に低下している | 急速に低下している | 下げ止まりの動きがみられる | |
| 個人消費 | 一部に弱い動きがみられる | <u>一部が弱い動きとなっている</u> | 弱い動きとなっている | <u>一部が急速に低下している</u> | 一部が急速に低下している | 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる | |
| 観光 | 一部に弱い動きがみられる | 悪化しつつある | 悪化している | 悪化している | 悪化している | 一部に下げ止まりの動きがみられる | |
| 公共工事 | 増加している | 増加している | 減少している | 増加している | 減少している | 増加している | |
| 住宅建設 | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 低下している | 低下している | 低下している | |
| 民間設備投資 | 増加している | 増加している | 増加している | <u>おおむね横ばいとなっている</u> | 減少している | 減少している | |
| 雇用動向 | 改善している | <u>足踏み状態となっている</u> | <u>弱い動きがみられる</u> | 弱い動きがみられる | 弱い動きがみられる | 弱い動きがみられる | |
| 企業倒産 | 件数、負債総額とも増加している | 件数は同数、負債総額は減少している | 件数、負債総額とも減少している | 件数、負債総額とも増加している | 件数、負債総額とも減少している | 件数、負債総額とも減少している | |

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※「新型コロナウイルス」の表現は、2020年5月の発表から「新型コロナウイルス感染症」に統一。

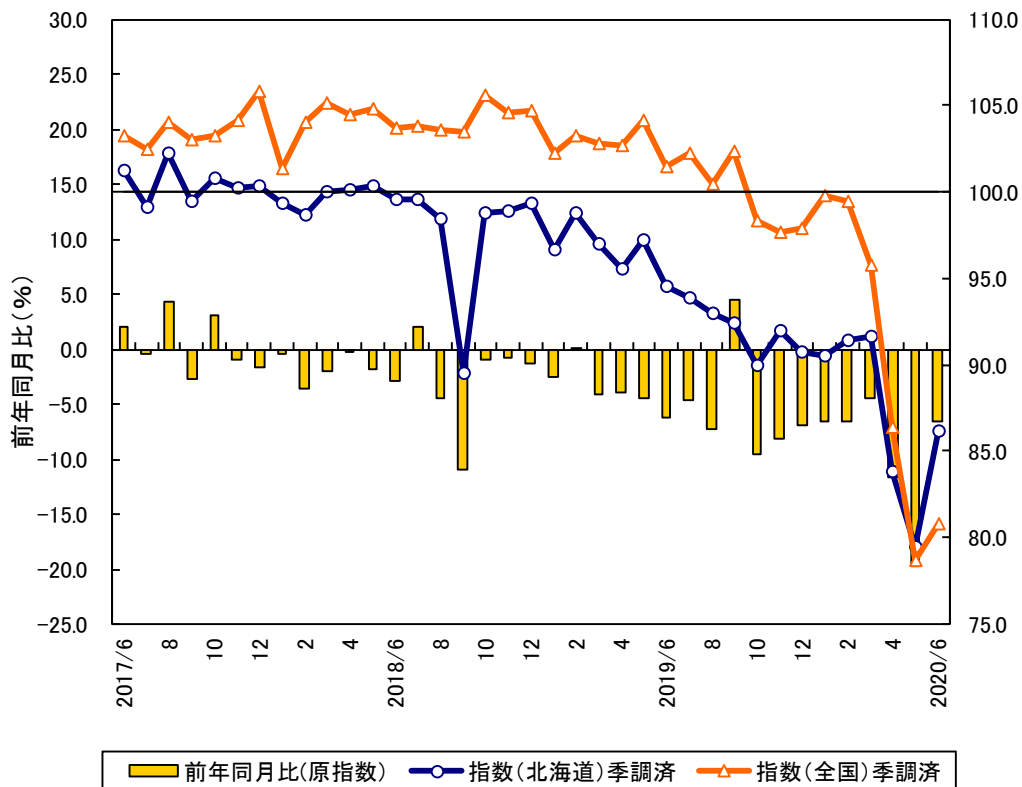
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 下げ止まりの動きがみられる ～

6月の鉱工業生産は、前月比+8.4%と3か月ぶりに上昇した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など12業種となった。低下業種は、食料品工業など3業種となった。

| < 6月 > | |
|----------|------------------|
| 季節調整済指数 | |
| 北海道 (速報) | 86.2 (前月比+ 8.4%) |
| 全国 (速報) | 80.8 (前月比+ 2.7%) |

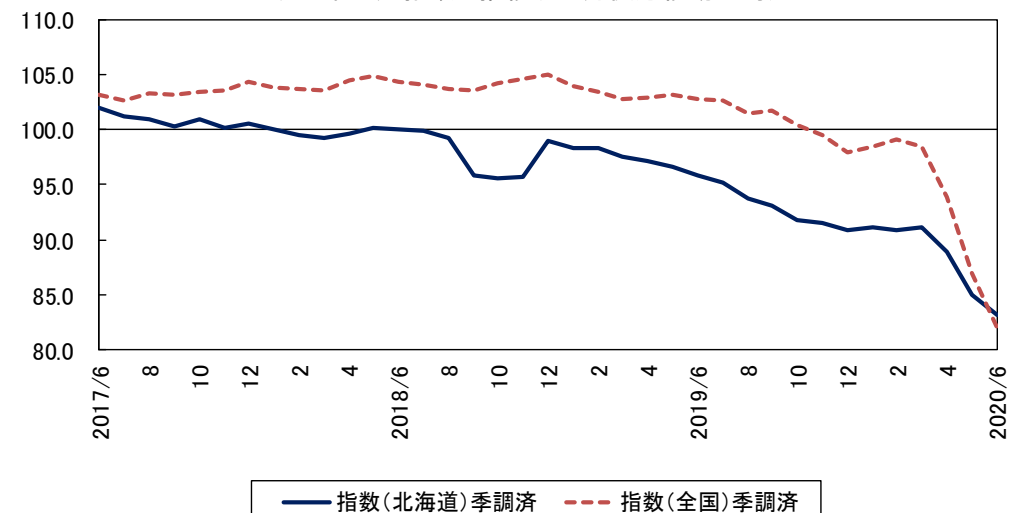
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で宅配便が増加したことにより、軽油を利用するトラック向けの需要が増えたことから、軽油の生産が増加した。(化学・石油石炭製品工業)
- 北米・欧州向け減産の影響は残っているものの、中国向け需要が好調であることから、自動車部品の生産が増加した。(輸送機械工業)
- 感染症の影響により、海外の漁場で、たらこ用のスケトウダラや数の子用のニシンの漁が減っているため、塩蔵品の生産が減少した。(食料品工業)
- 自動車向け需要などの増加により、特殊鋼棒鋼の生産が増加した。7月以降も6月より多めの生産が続く見通し。(鉄鋼業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

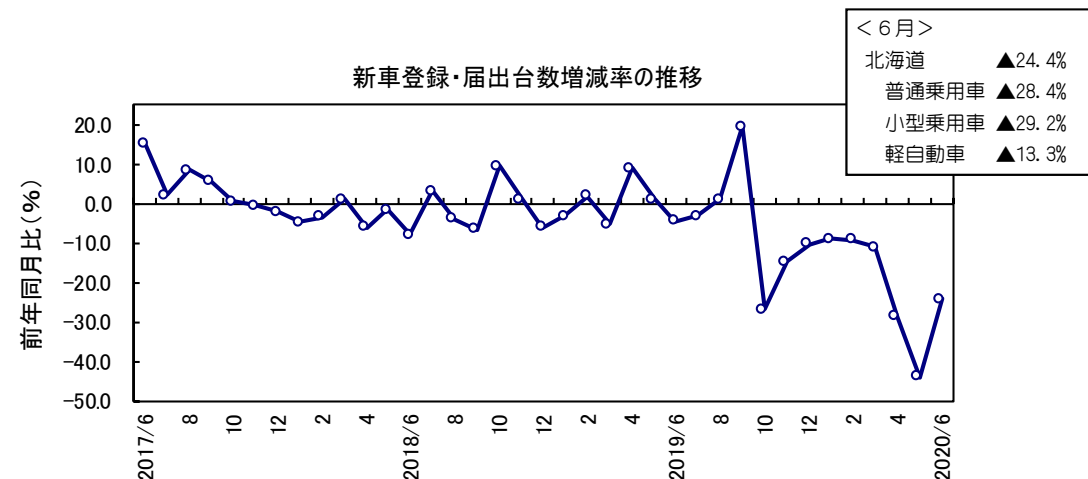
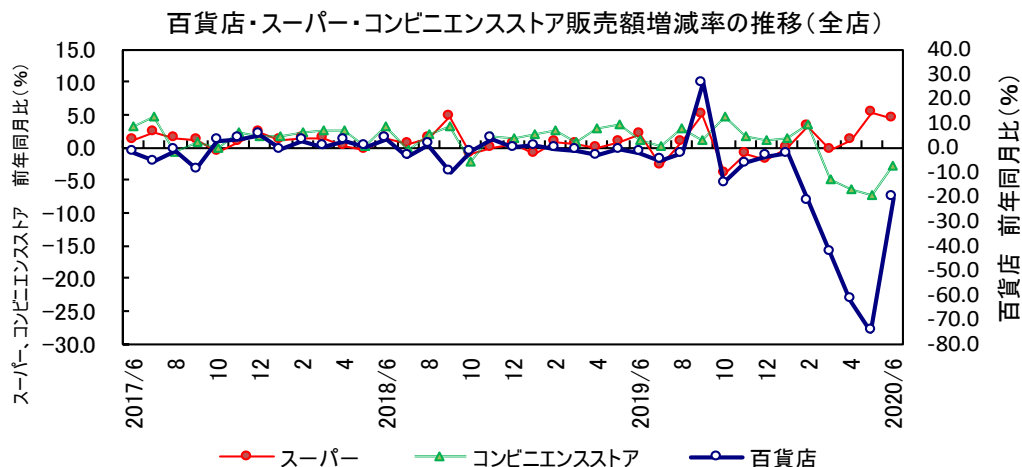


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

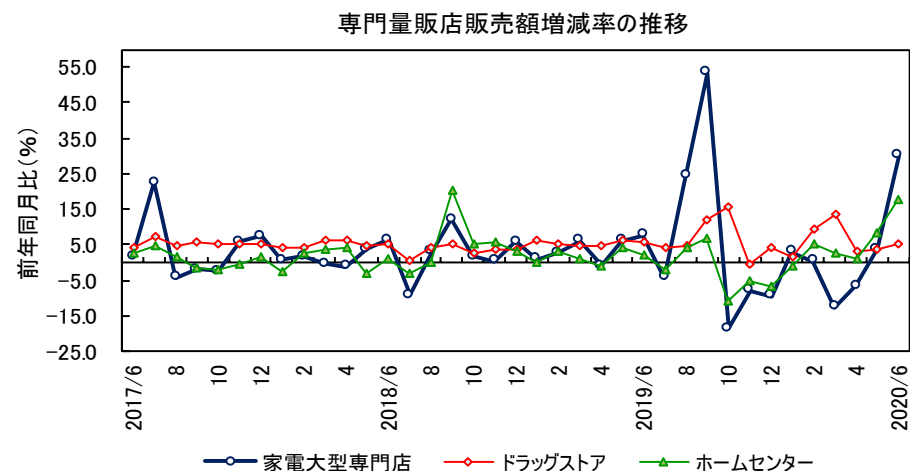
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

6月の個人消費は、百貨店、コンビニエンスストア、新車販売は前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

- 百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲20.6%と9か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、内食需要の継続から、飲食料品が好調だったことなどにより、同+4.3%と3か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同▲2.7%と4か月連続で前年を下回った。
- 家電販売は、同+29.9%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+5.1%と7か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+17.5%と5か月連続で前年を上回った。
- 新車販売は、同▲24.4%と9か月連続で前年を下回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



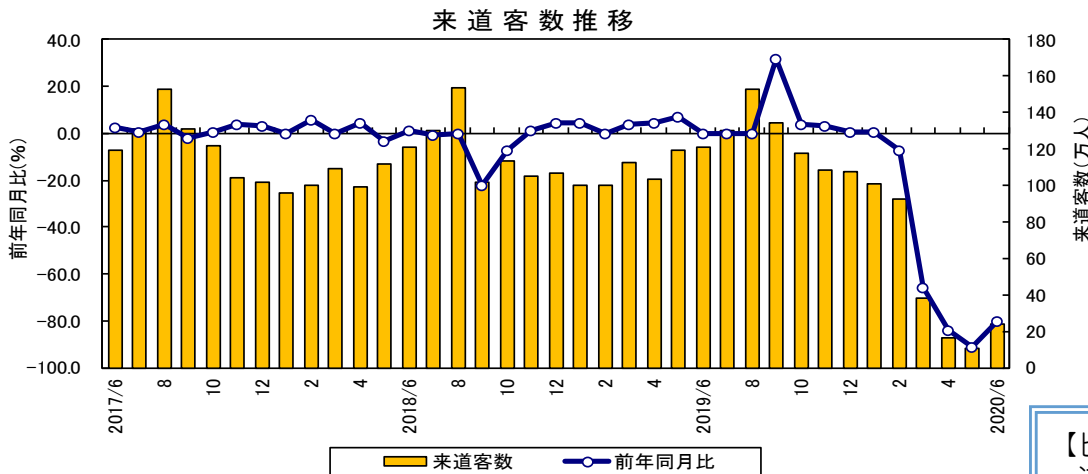
(資料：北海道経済産業局)

【ヒアリング内容】

- 休業期間が長かった反動で、営業再開直後は一時的に客数が伸びたが、その後は再び減少した。クリアランスセールについては、感染拡大防止の観点から一斉開催を中止したことなどにより、盛り上がりを欠いた。(百貨店)
- 前月までのような飲食料品を買い込む動きは落ち着いたものの、テレワークの増加や外食自粛の影響で「巣ごもり需要」が続く中、引き続き、肉などの生鮮食品やレトルト食品、冷凍食品などが好調な動きとなっている。(スーパー)
- 特別定額給付金の支給の影響により、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、テレビなど大型家電の売上が伸びた。(家電大型専門店)
- 在宅時間が長くなっている影響で、園芸用品、DIY関連、消耗品などの売上が伸びているほか、自転車や釣り具など「三密」を避けやすい屋外でのレジャー用品も好調な動きとなっている。(ホームセンター)

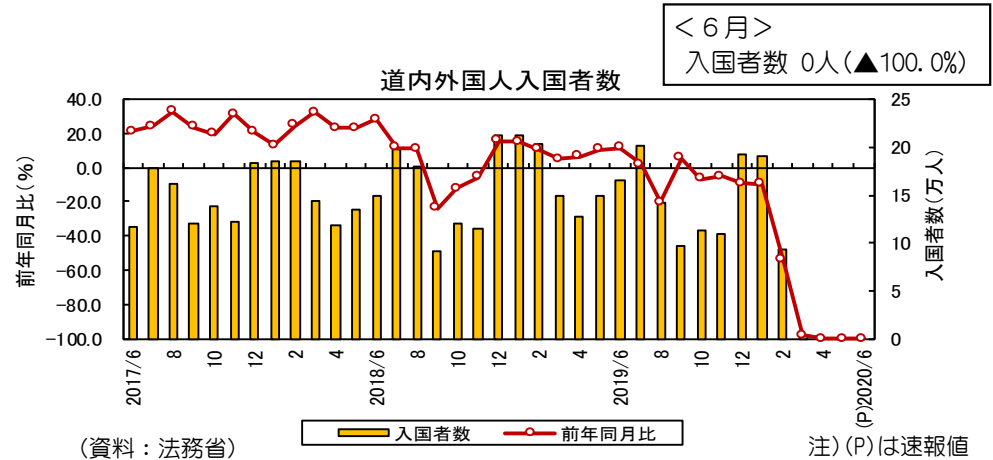
観光 ～ 一部に下げ止まりの動きがみられる ～

6月の来道客数は、前年同月比▲80.2%と5か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と9か月連続で前年を下回った。



<6月> 来道客数 240,095人 (▲80.2%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

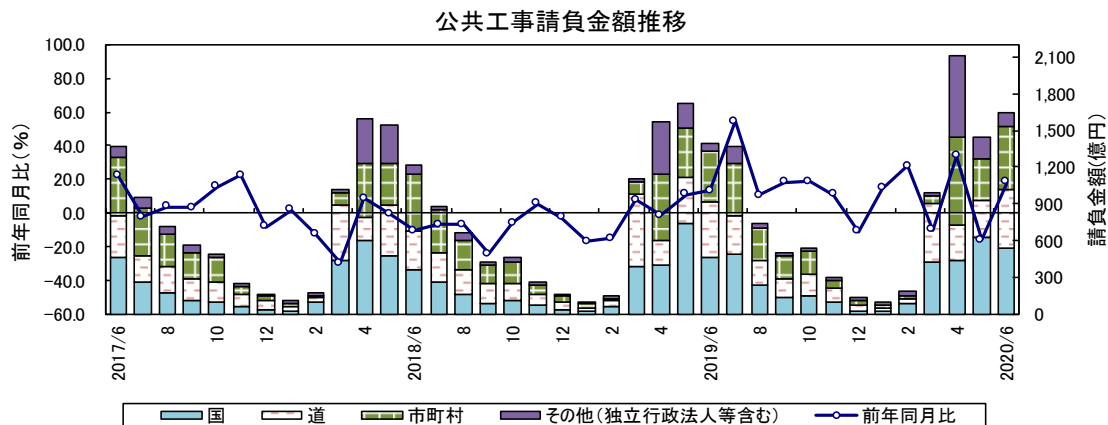


【ヒアリング内容】

- 道内と他都府県、札幌市と他地域との往来制限が解除となった6月19日以降、当地域では全ての宿泊施設が営業を再開し、観光客も少しずつ増えた。(関係機関)
- 各種の旅行キャンペーンにより、7月の連休中は市内の観光施設にお客が多数来ていたが、団体客は少なく、本格的な回復には時間がかかるだろう。(関係機関)

公共工事 ～ 増加している ～

6月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を上回り、前年同月比+18.2%と2か月ぶりに前年を上回った。



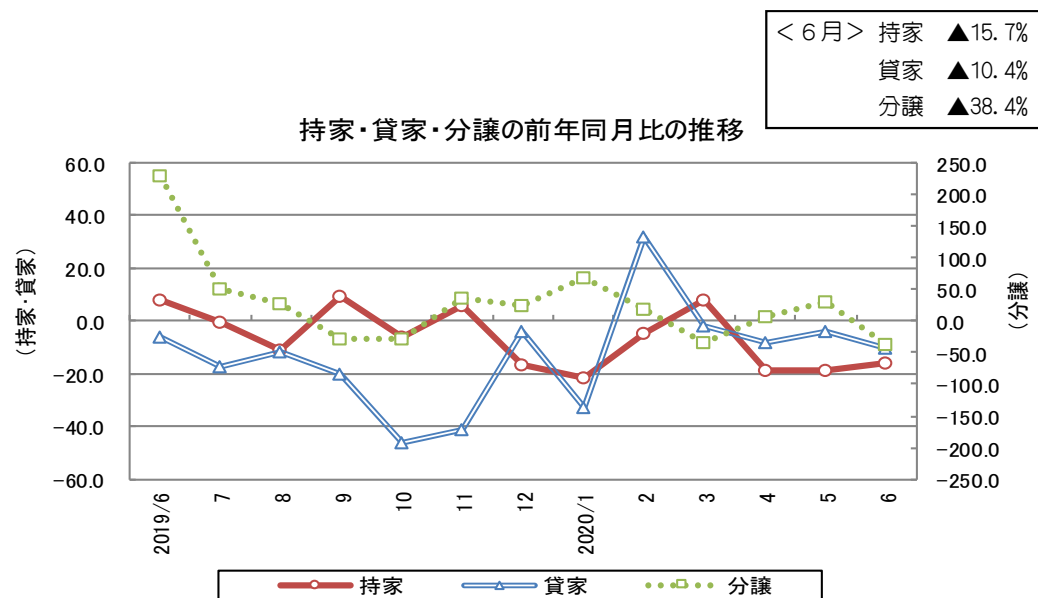
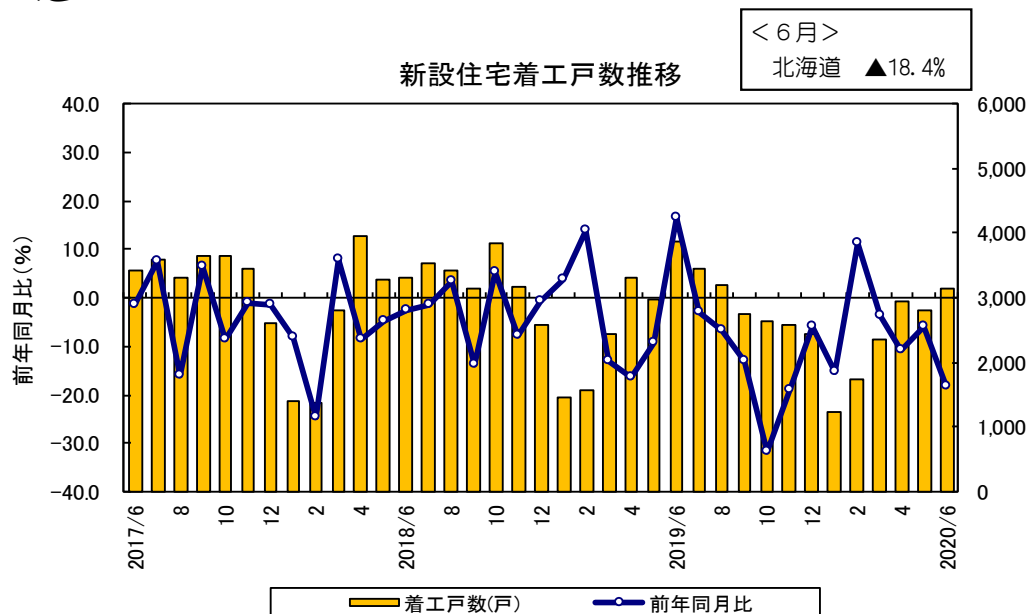
<6月>
 北海道 +18.2%
 (内訳)
 国 +16.3% 道 +6.3% 市町村 +25.9% その他 +67.4%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ~ 低下している ~

6月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を下回り、前年同月比▲18.4%と4か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ~ 減少している ~

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲5.3%と4年ぶりに前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年7月1日発表

| | 2019年度 | 2020年度計画 |
|------|---------|----------|
| 北海道 | + 14.6% | ▲ 5.3% |
| 製造業 | + 17.7% | + 15.7% |
| 非製造業 | + 13.2% | ▲ 15.6% |
| 全国 | ▲ 0.6% | ▲ 0.8% |

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年6月11日発表

| | 2019年度 | 2020年度 |
|------|---------|---------|
| 全産業 | + 17.8% | ▲ 5.7% |
| 製造業 | + 27.1% | ▲ 11.7% |
| 非製造業 | + 13.6% | ▲ 0.9% |

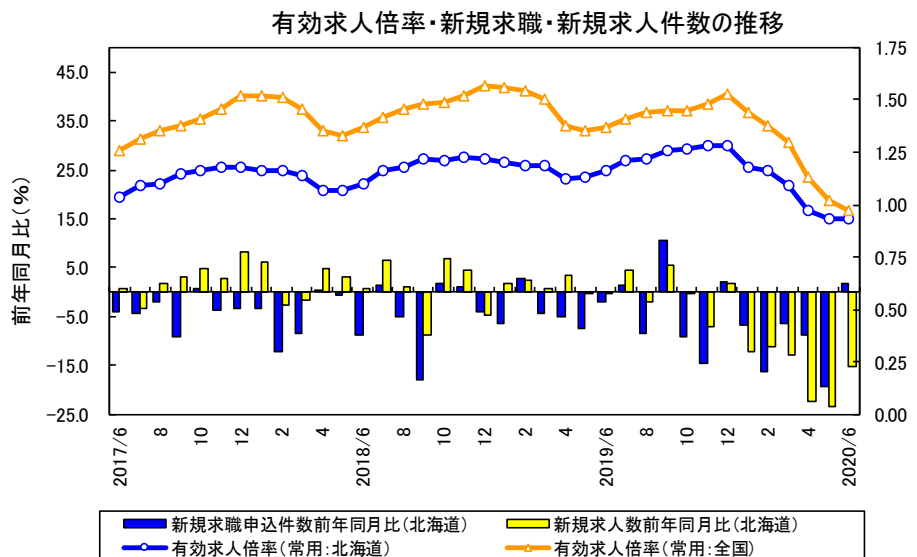
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

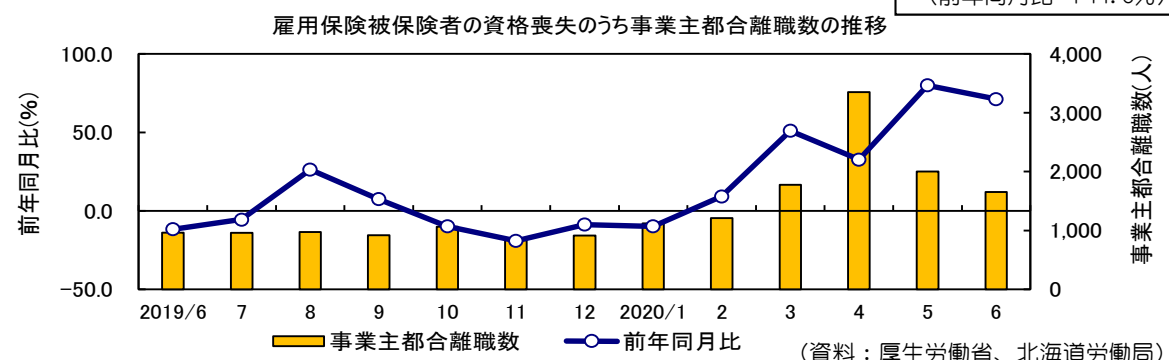
雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

6月の有効求人倍率は、0.93倍と前年同月差0.23ポイント減少し、6か月連続で前年を下回った。



| < 6月 > | |
|--------|---|
| 北海道 | 有効求人倍率(常用) 0.93倍 新規求人件数(前年同月比) ▲15.3% |
| 全国 | 新規求職申込件数(前年同月比) +1.8% 有効求人倍率(常用) 0.97倍 |

< 6月 >
事業主都合離職数 1,653人
(前年同月比 +71.3%)



企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

6月の倒産件数は21件で前年同月比▲16.0% (4件減)、また、負債総額は26.4億円で同▲25.3%と、いずれも2か月連続で前年を下回った。

